

貴志康一

生誕100周年

ナチズムが台頭する1930年代のベルリンを
 颯爽と駆け抜けた日本人音楽家、貴志康一（1909～1937）。
 その短い生涯は、いくつもの鮮烈な挿話に彩られている。
 日本人として初めて銘器ストラディヴァリウスを所有、
 25歳でベルリンフィルを指揮、日本文化紹介のための作曲と映画製作……
 多方面にわたる貴志の活動は、
 日本音楽史・映画史にいかなる位置を占めるのか。
 貴志の誕生から100年を経た今年、新たな視座から検討を行いたい。



Ranko Kurano(Sop)



Ena Kajino(Vn)



Yukari Koyasu (Pf)

ヴァイオリンを弾く貴志康一
 中山岩太撮影(1932年頃)

演奏者紹介

生誕100周年コンサート

11月6日（金） 入場無料先着順
 18:00～プレトーク/19:00～コンサート
 場所：コミュニケーションプラザ
 北館2階・音楽実習室

プログラム

貴志康一 ヴァイオリンソナタ第一楽章
 ヴァイオリン曲「龍」「漁師の唄」
 歌曲「花売娘」「八重桜」「風雅小唄」
 「赤いかんざし」「さくらさくら」
 諸井三郎 ヴァイオリンソナタ第二番第一楽章
 E.モリッツ ヴァイオリンソナタ第一楽章（日本初演）
 山田耕筰 歌曲「がんばれの歌」「上海特急」
 「園の夢」「中国地方の子守唄」
 P.ヒンデミット 歌曲「Fragment」「Abendphantasie」
 ほか（演奏順未定）

蔵野 蘭子(ソプラノ) ゲスト出演

東京芸術大学、同大学院、二期会及び文化庁オペラ研究所修了。
 文化庁在外研究員として渡欧。TVFrance3よりグランプリ、国際
 Wagnerコンクール特別賞受賞。欧州のオペラハウス、新国立劇
 場、N響定期、NHKFMなどで好評。二期会会員。

梶野 絵奈(ヴァイオリン) 比較・博士課程

国立音楽大学、オーストリア国立モーツァルテウム音楽院修士課程
 修了。徳永二男、ハーゲン弦楽四重奏団らに師事。I.ギトリスに研
 鑽。ジョン・カズシ基金支援アーティストに選ばれオタワでソロデビ
 ュー。モーツァルテウム・ウィーンザール等国内外でリサイタル。

子安 ゆかり(ピアノ) 表象・博士課程

武蔵野音大、ドイツ国立ケルン音大大学院修了。F.ディースカウ氏
 のマスターコース伴奏者、国際コンクール公式伴奏者。ザルツブル
 ク市よりFörder賞受賞。ラジオ、テレビ出演・録音多数。CD「岩の上
 の羊飼ひ」リリース。ケルン音大講師を経て武蔵野音大専任講師。

シンポジウム

11月7日（土） 10:00～18:00
 場所：18号館ホール

●学生発表

伊藤由紀（比較・博士課程）
 岡野 宏（比較・修士課程）
 白井史人（表象・博士課程）
 堀内彩虹（表象・修士課程）
 山上揚平（表象・博士課程単位取得満期退学）

●インタビュー「明治生まれ、私の提琴人生」

松本善三(元・新響ヴァイオリニスト)

1911年東京生まれ。鈴木鎮一、モグレフスキーに師事。1934年ウ
 ィーン留学。1935年帰国後、新響で貴志と共演。邦人作曲家作品
 初演多数。戦後、東フィル、ABC響等コンマス。著書『提琴有情』。

●貴志康一監督映画上映

『春』（1933年、貴志学術映画研究所製作）
 『鏡』（1933年、ウーファ製作）

（いずれも東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品）

●パネルディスカッション

片山杜秀(慶応義塾大学准教授)

音楽評論家、思想史研究者。著書に『音盤考現学』『近代日本の
 右翼思想』など。吉田秀和賞、サントリー学芸賞を受賞。慶応義塾
 大学法学部准教授、国際日本文化研究センター客員准教授。

竹峰義和(日本大学助教)

専門は表象文化論・ドイツ思想史・映像メディア論。著書に『アドル
 ノ、複製技術へのまなざし』（青弓社）。共著に『美のポリテイクス』
 （御茶の水書房）ほか。

中村仁(表象文化論博士課程)

司会：長木誠司(東京大学教授)

使用言語：日本語

日本音楽学会関東支部特別例会
 貴志康一生誕100周年記念シンポジウム

ベルリンの日本人

—— 1930年代、貴志康一とその周辺

日時：2009年11月6・7日（金・土）

場所：東京大学駒場キャンパス

（京王井の頭線「駒場東大前」駅「東大口」下車すぐ）

主催：東京大学比較文学比較文化研究室および表象文化論研究室

共催：日本音楽学会関東支部

協力：甲南学園貴志康一記念室、東京国立近代美術館フィルムセンター

企画：梶野絵奈

運営：貴志プロジェクト実行委員会

問合せ：ゴチェフスキ研究室 (gottschewski@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp)

URL：http://fusehime.c.u-tokyo.ac.jp/symposium/kishikoichi/index.html

